(一社)浦安市薬剤師会発行

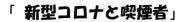
2022年4月発行

鷺川号 まちのくすりやさん





「麦粒腫と霰粒腫」





麦粒腫(ものもらい)と霰粒腫

「めばちこ」「めいぼ」など地域によって様々な呼び名がある「ものもらい」ですが、医学的には「麦粒腫(ばくりゅうしゅ)」というのが正式な名称です。家族や友人への感染を気にする方がいますが、人にうつることはありません。よく似た病気に、「霰粒腫(さんりゅうしゅ)」があり、見た目では判断がつきにくい一方、治療法は異なるので注意が必要です。

麦粒腫は、細菌感染によって起きる炎症で、原因となるのは、身の回りに存在するブドウ球菌など一般的な細菌です。感染場所によって2つの種類に分けられ、まぶたの内側にある脂を排出する「マイボーム腺」に感染した場合を「内麦粒腫」、まつげの根元にある汗や脂を出す腺に感染した場合を「外麦粒腫」と呼んでいます。一方、霰粒腫は、マイボーム腺の出口部分が詰まることで起こります。何らかの原因でおかゆのような柔らかい分泌物の塊ができて炎症を起こすのです。まぶたの腫れや異物感といった症状が出ますが、麦粒腫は痛みやかゆみがありますが、霰粒腫は、痛みのないケースが多いのが違いです。

麦粒腫は、細菌を退治するため、抗生剤の目薬や飲み薬を使い、通常数日で症状が改善されます。霰粒腫は、細菌が原因ではないため、抗生剤では、大きな効果が得られません。目に温かいタオルなどを当ててマイボーム腺の詰まりを解消するのが有効で、目の周囲をもむマッサージなども効果があります。改善を実感できない場合には、病院を受診して下さい。



麦粒腫、霰粒腫とも、大人から子どもまで、性別や年齢に関係なくかかる病気で、完全に予防するのは難しいでが、目の周りの汚れが多い人、脂の排出が多い人はかかりやすいとされているので、洗顔などで目の周りを清潔に保っておくことが重要です。

女性の場合は、アイラインやマスカラを使った目の周りのメイクがクが発症につながるケースもあります。この病気は風邪のようにウイルスが引き起こす病気ではないため、かかった人が周囲の人に病気を広げる可能性はほとんどありません。安心して治療に専念して下さい。

【新型コロナと喫煙者】

WHO のステートメントによれば、WHO が2020年4月29日に招集した専門家によるレビューにおいて、喫煙者は非喫煙者と比較して新型コロナウイルスへの感染で重症となる可能性が高いことが明らかになったことなどが報告されています。(2020年5月11日公表)また、厚生労働省が発行した「新型コロナウイルス感染症診療の手引き」の中で、重症化(ICUに入室または人口呼吸器が必要)のリスク因子として喫煙を挙げております。

(出典:厚生労働省「新型コロナウィルスに関するQ&A(一般の方向け)」 「新型コロナウィルス感染症診療の手引き第5版」)

【喫煙所での感染リスク】

新型コロナウイルス感染症の拡大防止には、「3つの密(密閉、密集、密接)」を避けることが重要です。喫煙室は、限られた空間で複数の方が利用することから感染を拡大させるリスクが高い場所(マスクを外す、口元に手を近づける、密閉・密集した空間で感染者と近距離で数分間過ごす可能性があるなど)と考えられます。厚生労働省は、感染リスクが高まる場面を避ける行動例として、喫煙室などに注意することを挙げており、これらの場所では距離が近づかざるを得ない場合があるため、会話や、携帯電話による通話を慎むよう呼びかけております。

(出典:厚生労働省「新型コロナウィルスに関する Q&A (一般の方向け)」)





季節の変わり目、体調には十分気を付けて下さい。

処方箋がなくても、薬を購入しなくても、ご不安なことがありましたら、 遠慮なく薬局にご相談下さい。

かかりつけ薬局・かかりつけ薬剤師を持ちましょう。

(一社)浦安市薬剤師会

〒279-0004 浦安市猫実1-2-5健康センター内

Tel 047-355-6812 (月~金: 10~15時)

Fax 047-355-6810

メールアドレス <u>toiawase@urayaku.jp</u>

ホームページ http://www.urayaku.jp/